

防災行政無線

「ミュージックチャイム」 放送時間変更のお知らせ

毎日、十八時に防災行政無線で放送しているミュージックチャイム（浜辺の歌）の放送時間を十月一日から十七時に変更します。

防災行政無線は災害情報や町からのお知らせを町民の皆さんへお伝えする設備です。内容が聞き取れない時のポイントは左記の三つです。

① 災害情報は男性の声、それ以外は女性の声と、区別して放送しています。男性の声は災害に関する緊急情報ですから同時にテレビ、ラジオでも必ず放送しています。湘南ビーチFMでも確認できます。

なお、津波警報、東海地震の警戒宣言など、重大な内容のときには特に注意を喚起するためサイレンを併用します。

② 女性の声は、行事などのお知らせなので緊急性はありません。

③ 消防テレホンガイド ☎八七五〇〜四〇〇〇に電話すると、放送と同じ内容を聞くことができます。男性の声、女性の声に関わらず、放送を行った場合は広報しています。火災や救助などで消防車がサ

イレンを鳴らして出動したときもお知らせしています。

津波ハザードマップの 作成について

平成十六年度から神奈川県県土整備部砂防海岸課が取り組んでいた対象地震別津波浸水予測図が今年七月十八日に県ホームページ等で公表されました。この対象地震は①南関東地震、②神奈川県西部地震、③神縄・国府津松田断層地震、④元禄地震の計四地震が発生した場合の津波高及び津波浸水予測等について情報を提供し、相模湾沿岸の市町はこの津波浸水予測の業務成果をもとに、津波ハザードマップを作成することと指導されています。

町も本年度内に「葉山町津波ハザードマップ」を作成し、津波に対する啓発や対象地震別の津波浸水予測図の周知をはかる予定です。また、県のホームページを閲覧できない場合は、消防本部消防総務課内で閲覧できます。

参考 県砂防海岸課 <http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/sabo/kouwan/shinsui/shinsui.html>

問合せ 消防本部 ☎八七六〇一一九 内線三二三

かんぽのつどい 検察審査会

選挙権を有する国民の中からくじで選ばれた十一人の検察審査員が、一般の国民を代表して、検察官が被告人（犯罪の嫌疑を受けている人）を裁判にかけなかったこと（不起訴処分）のよしあしを審査するのを主な仕事とするところです。

これまでに検察審査員又は補充員（検察審査員に欠員ができたときに、これに代わって検察審査員の仕事をする人）として選ばれた人は約五〇万人にもなり多くの人たちが国民の代表として活躍しています。

●審査はどいついつに行われるのか

犯罪の被害にあった人や犯罪を告訴・告発した人から、検察官の不起訴処分を不服として検察審査会に申立てがあったときに審査を始めます。また、検察審査会は、被害者などからの申立てがなくても、職権で取り上げて審査を始めることもあります。

●審査の方法は

検察審査会は、検察審査員十一人全員が出席した上で、検察審査会議を開きます。そこでは、検察庁から取り寄せた事件の記録を調べたり、証人を呼んで事情を聞くなどし、検察官の不起訴処分のよしあしを一般

国民の視点で審査します。

また、検察審査会議は非公開で行われ、それぞれの検察審査員が自由な雰囲気の中で活発に意見を出し合うことができるようになっていきます。

●審査の結果は

検察審査会で審査をした結果、更に詳しく捜査すべきである（不起訴不当）とか、起訴をすべきである（起訴相当）という議決があった場合には、検察官は、この議決を参考に、起訴を再検討します。その結果、起訴をするのが相当であるとの結論に達したときは、起訴の手続がとられます。

問合せ 横須賀検察審査会

（横浜地方裁判所横須賀支部庁舎内）
☎八二三一一九〇五

無料調停相談会

日時 十月九日（火）十時～十五時

場所 逗子市役所五階

問合せ 横浜地方裁判所横須賀支部 横須賀民事調停協会

☎八二三一一九〇五
横浜家庭裁判所横須賀支部

横須賀家事調停協会
☎八二五一〇五六九

『地球温暖化』について 考えよう

最終回

◆日本の温室効果ガスの内訳

二〇〇五年度の日本の温室効果ガス総排出量は、十三億六千万トン。部門別で見ると、約四割が工場等の産業部門、二割強が自動車・船舶などの運輸部門（自家用車も含む）、二割弱が商業・サービス・事業所等の事業部門、約十五%が家庭部門となっています。一九九〇年以降の推移を見ると、最も排出量の多い産業部門は減少しつつあり、業務部門・家庭部門の増加が目立ちます。

◆更なる温暖化対策に向けて

産業界では、排出量削減に向け、さまざまな研究が進められています。キーワードは「省エネ」——単にエネルギーの使用を減らすだけでなく、エネルギー効率を高める「コージェネレーション（熱電併給）」が主流です。電気の発電と同時にその際発生する熱も地域や施設の給湯・暖房に利用すれば、発電だけの時よりもエネルギーの利用効率は飛躍的に高まります。すでに、大規模工場、オフィスビル、大型商業施設への導入も始まっています。日本は世界でも高水準の省エネ技術を持ち、

省エネ効果の高い機器の開発、エネルギー効率のよい輸送方法も研究されています。

こうした研究開発とともに必要なのが、私たち一人一人の意識改革です。「家庭部門」からの排出は十五%。しかし、私たちの意識が変われば、家庭部門だけでなく、産業・運輸・事業部門からの排出構造も変わってくるはず。最近では環境省の主導により、インターネット上の啓発サイトも充実しています。関心を持たれた方はぜひご覧になり、温暖化防止の輪を広げてください。

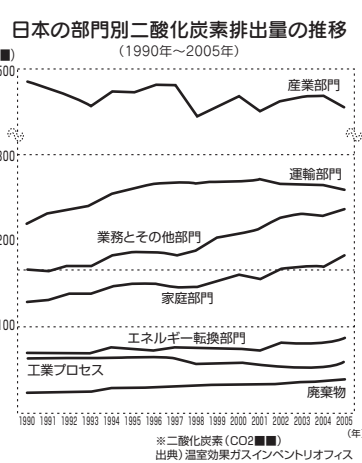
◆おすすめサイト◆

● チーム・マイナス六%

http://www.team-6.jp/

● 環のくらし

http://www.wanokurashine.jp/



● 全国地球温暖化防止活動推進センター

ホームページ (http://www.ccca.org/)

より引用

葉山歌壇俳壇

短歌

岡田 保子 選

◎ 検査待つ窓辺より見ゆ 岩陰のなごさに寄する小波白波
(評) 病院の検診をまつ際の心境であろう。現代生活の中に占める健康への不安感、待たされる焦慮感が、落着きなく絶間なく寄す波のリズムに託され歌われている。

広報の表紙にて知る彩鮮かなアオウミウシを干潟にさがす
ヒグラシの声のせて吹く谷戸の風ひそと憩える野ウサギに遭う
あら草の刈られし公園のかたすみひるがほ一輪はつかうすべに
ひたすらに佛像彫る友 長崎に家族奪はれ夏六十二年目
山鳩の巢を狙うがに鳴くトビの難なく過ぐれば一日長かり
今日も又真夏日と予報告ぐる朝清らなる白 酔芙蓉咲く
時鳥・檸檬・苧環・蓮華草・よく読めました孫十二歳
曾孫の愛らしき笑顔見る度にも少し生きむと吾が身励ます
鬱病の子を持つ親の叫び聞くポランテア大会白雨しき降る

◎ 特選 * 共選

締切は、掲載希望月の前々月末日必着。はがき1枚に、一人3首か3句まで(当季雑詠)、住所、氏名、電話番号を書いて、企画調整課「葉山歌壇俳壇係」まで

俳句 沼田葉櫻子 選

◎ 満天の星いだだきて夜干梅 石川 光子
(評) 青梅を塩漬けにして、土用の日に並べて干すのであるが、天気が好いときは、「三日三晩の土用干し」で夜露にあてることがある。「いだだきて」という表現(謙讓語)がよかった。

* 野の牡丹の深むらさきや立子の忌 安藤とみ子
(評) 野牡丹は「夏」に紫色で大輪の五弁花をつける。掲出の句は「春」で季題は「立子忌」になる。俳人星野立子は三月三日が忌日。星野椿(玉藻主宰)の句に「紫の人ともいはれ立子の忌」があるが、これを踏まえての作品と思われる。

木刀に気合の入る西瓜割り 熊本 京子
句短冊風鈴並ぶ駅ホーム 熊谷 晃門
海鳴りの響き遠げき蟬の穴 三崎 邦彦
帰省子ら帰りてまたも二人かな 池部 貞助
老若男女心は一つ盆踊り 米倉 久恵

俳句 浅井 一志 選

◎ 野の牡丹の深むらさきや立子の忌 安藤とみ子
(評) 立子は星野立子のことであり、現代の俳壇の大御所高濱虚子の娘でもある。花のむらさきと立子とは照応するのではない。立子自身、「卯の花やうす紫の着物欲し」という句を残している。紫は好きなのである。

原爆忌抱く白猫つめたからず 三崎 邦彦
(評) 白猫というと視覚的には冷たいという感じ、ところが抱いた瞬間に冷たくなかったと感じたという。原爆は死を意味するが、猫は冷たくないでその逆。ここにひとつの驚きが生まれる。

朝採りの茄子の紫紺露はじく 片山 久女
綺断岬出て縄電車脱線す 近藤 紮
* 満天の星いだだきて夜干梅 石川 光子
大暑かな上を向きたるのど仏 園田 義朗
鬼平を読破折しも梅雨明け 伊藤 青風